

同時
開催

浮世絵名品選

～美人画・役者絵を中心に

前期 7月11日(金)～8月3日(日) 後期 8月5日(火)～8月24日(日)



「四世岩井半四郎の乳人重の井」東洲齋写楽(前期)

当館所蔵コレクションには、芝村義邦氏寄贈の浮世絵が多数あります。今回は美人画・役者絵を中心に展示します。

浮世とは戦国の世が終焉を迎え、平和となった現世をひたすら謳歌する生き方を意味します。それまでの無常観の憂世から決別した態度、すなわち、現世を楽土と見る考え方が芽生えました。17世紀後半、それが近世初期絵画の世界にも投影されて、浮世を画題とした浮世絵が成立しました。

浮世絵は、美人画、役者絵、風景画、花鳥画、相撲絵などありますが、今回は美人画・役者絵をご覧いただこうと思います。東洲齋写楽「四世岩井半四郎の乳人重の井」、磯田湖龍齋「丁字屋内」などを展示します。浮世世界をお楽しみください。



「当世むすめ三十六花撰さくら」歌川国貞(前期)



「流光花撰(杜若)」歌川国貞(後期)



「丁字屋内」磯田湖龍齋(後期)

田原市博物館

☎22局1720

<http://www.taharamuseum.gr.jp>



伊川津貝塚を発掘した人類学者小金井良精(中央) 大正11年

渥美半島の歴史
考古－発見の歴史

- 企画展示室2
- 9月28日(日)まで開催

遺跡の宝庫、渥美半島は江戸時代から注目され、明治時代終わりからこぞって発掘調査が行われ、その出土遺物が学会に多くの影響を与えました。吉胡・保美・伊川津貝塚、東大寺瓦をはじめ学会に影響を与えた遺物を展示します。

同時
開催